



透析だより 2月号

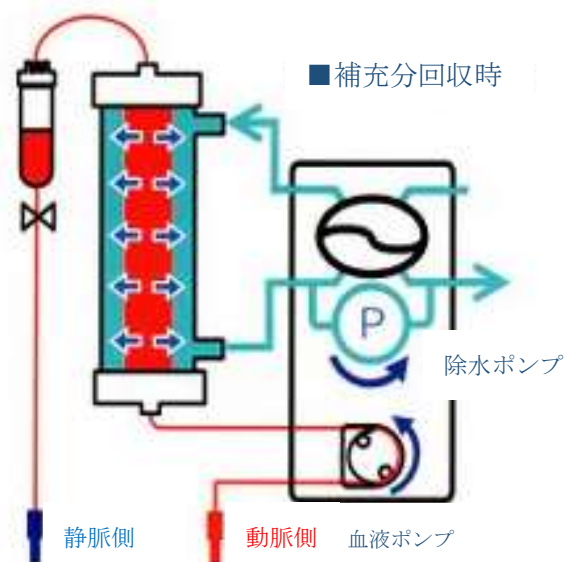
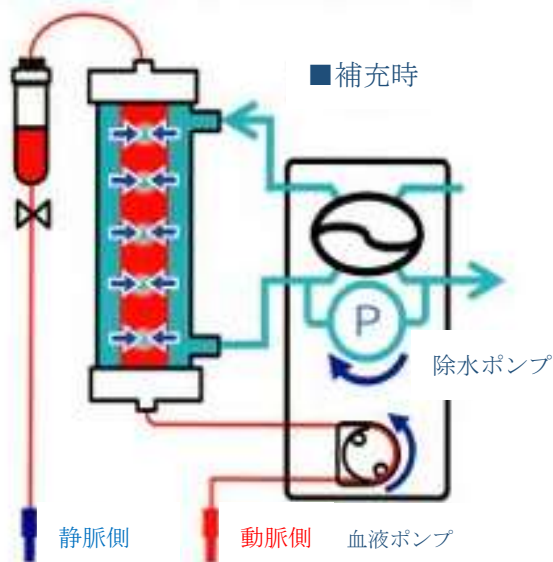
～I-HDF（間けつ補液型血液透析ろ過）について～

今回は以前にも透析だよりでご紹介をした I-HDF について、またお話をしたいと思います。当院では 2016 年 12 月より I-HDF の治療を始めまして、2 月末の時点で 15 名の患者様が治療を受けています。

ME 科 西尾 光司



まずおさらいですが、I-HDF というのは血液透析と並行して、一定の間隔ごとに補液を行う治療法です。ダイアライザーを通して透析開始から決められた時間ごとに一定量の補液を行います。

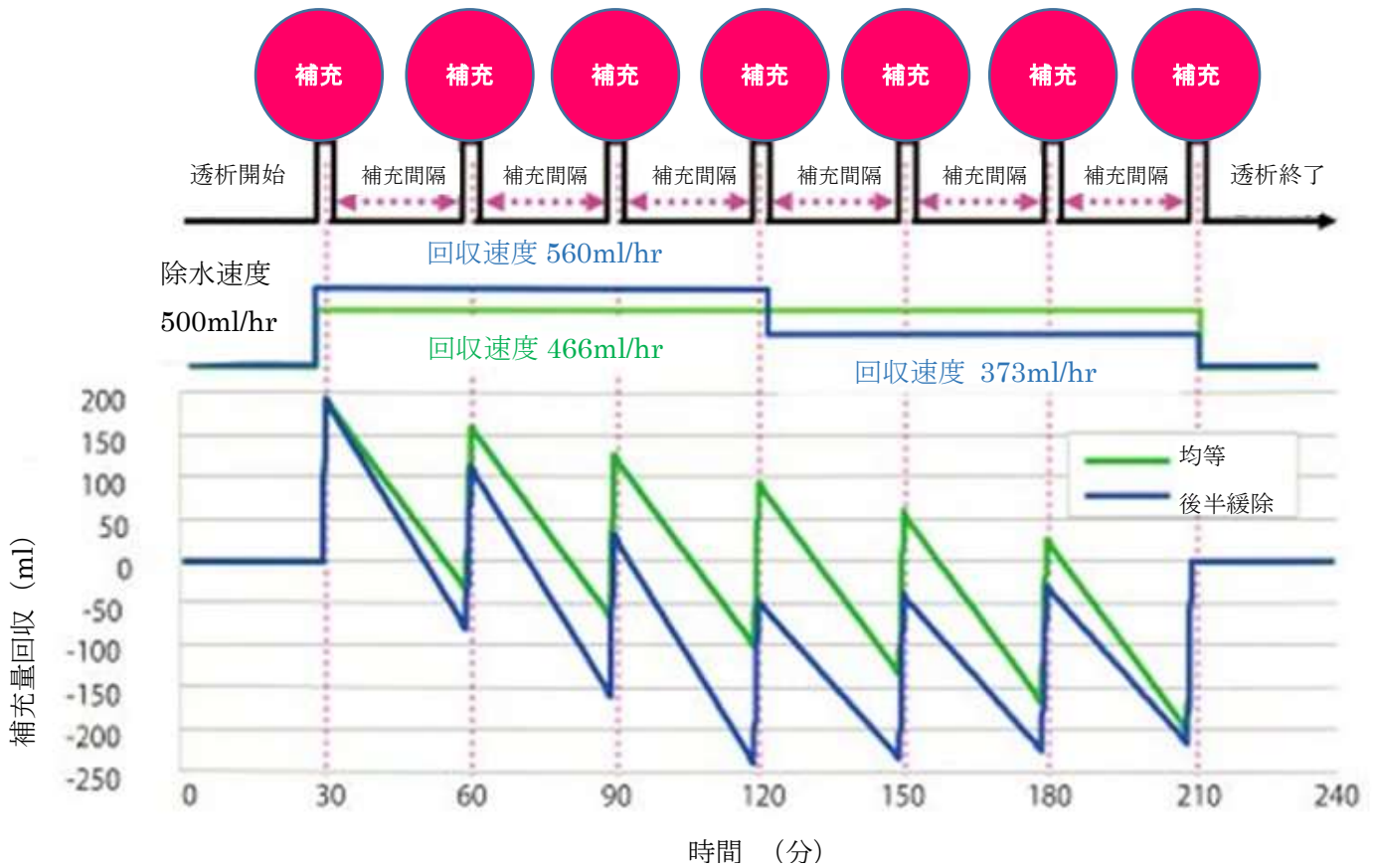




補液された水分は身体に残ってしまうのではないかとと思われる方もいらっしゃると思いますが、補液された水分は透析装置に設定された除水量に加算されて除水されるようになっており、体内に水分が残らないように調節されています。



この治療法は血液透析（HD）と比較すると、一定の間隔ごとに入る補液によって身体の血液の流れが改善され、身体をつりを防止し、血圧低下の予防し、老廃物の除去をよくすることが期待されています。



※緑線は一定時間ごとの補液と体の水分を均等に回収する流れを示しています。

※青線は一定時間ごとの補液と体の水分を後半ゆっくり回収する流れを示しています。

以上により治療の効果として次のことが期待されています。

- 足のムズムズ感
- 手足のつりやしびれ
- 皮膚のかゆみ
- 透析中の血圧低下
- 食欲不振（低栄養）



このような症状でお悩みの方はスタッフに相談してください。

I-HDF は血液透析と比べていろいろと良いところがあるので、これからも I-HDF の患者様を増やしていきたいと思います。まだまだこれからも様々な研究が進んでいきますので、新しい情報を皆様へ還元していけるようがんばっていききたいと思います。

